

(3) ECA 単位認定について

入学前または在学中に取得した下記検定資格を、合格証を添えた本人の申請に基づき「ECA (Advanced English)」(基礎科目)の単位として認定する。

対象科目：ECA (Advanced English)

認 定：4 単位

資 格：TOEIC750点以上、TOFEL550点 (iBT：83、CBT：220) 以上、英検準1 級以上

対 象：全学科全学年

提 出 先：教務課

締 切 日：各学期の15週目最終日

(4) 海外提携校及び認定校への海外研修に係る科目の単位認定について

1. 海外提携校及び認定校で行われる海外研修プログラムに参加し、単位認定条件を満たした場合、単位認定され、卒業要件単位として算入される。

[基礎科目群]

オーストラリア文化演習 (4 単位：研修終了後春学期の単位として認定)

認 定 校：Deakin University English Language Institute
(オーストラリア・メルボルン市)

期 間：約5 週間 (春休み)

事 前 準 備：オーストラリアの文化／マナーと安全管理講座・その他準備会

内 容：現地授業時間・リサーチ・課外活動約125時間

滞 在 方 法：ホームステイ

事 後 報 告：レポート・アンケート提出・帰国報告会

カナダ文化演習 (4 単位：研修終了後秋学期の単位として認定)

認 定 校：University of Victoria English Language Centre (カナダ・ビクトリア市)

期 間：約3 週間 (夏休み)

事 前 準 備：カナダの文化／マナーと安全管理講座・その他準備会

内 容：現地授業時間数・課外活動約120時間

滞 在 方 法：大学寮

事 後 報 告：レポート・アンケート提出・帰国報告会

海外文化演習：フィリピン (4 単位：研修終了後春学期の単位として認定)

大学・機関：Battan Peninsula State University / Keystone International Language Center

期 間：約3 週間 (春休み)

事 前 準 備：フィリピンの文化／マナーと安全管理講座・その他準備会

内 容：現地授業時間数・課外活動約120時間

滞 在 方 法：語学学校寮

事 後 報 告：レポート・アンケート提出・帰国報告会

アメリカ文化演習 A (4 単位：研修終了後秋学期の単位として認定)

※2018年度は休講

期 間：約4 週間 (夏休み)

事 前 準 備：アメリカの文化／マナーと安全管理講座・その他準備会

内 容：現地授業時間数・課外活動約120時間
滞 在 方 法：大学寮またはホームステイ
事 後 報 告：レポート・アンケート提出・帰国報告会

アメリカ文化演習 B（2単位：研修終了後秋学期の単位として認定）

※2018年度は休講
期 間：約2週間（夏休み）
事 前 準 備：アメリカの文化／マナーと安全管理講座・その他準備会
内 容：現地授業時間・課外活動約60時間
滞 在 方 法：大学寮またはホームステイ
事 後 報 告：レポート・アンケート提出・帰国報告会

[日本文化学科]

韓国文化演習（4単位：研修終了後秋学期の単位として認定）

提 携 校：啓明大学校（韓国・大邱市）
期 間：約3週間（夏休み）
事 前 準 備：韓国語と韓国文化について・準備会
内 容：韓国語・韓国文化体験授業 約108時間
滞 在 方 法：大学寮
事 後 報 告：レポート・アンケート提出・帰国報告会

[児童学科]

児童学海外研修（4単位：研修終了後春学期の単位として認定）

認 定 校：IELI/The Flinders University（オーストラリア・アデレード市）
期 間：約4週間（春休み）
事 前 準 備：オーストラリアの文化／マナーと安全管理講座・その他準備会
内 容：英語クラス・リサーチ・児童教育実習 約120時間
滞 在 方 法：ホームステイ
事 後 報 告：アンケート提出・帰国報告会

- これらの科目は、夏期および春期の休暇期間中に開講されるもので、アメリカ文化演習はアメリカ合衆国内の認定校、オーストラリア文化演習・児童学海外研修はオーストラリア国内の認定校、カナダ文化演習はカナダ国内の認定校、韓国文化演習は韓国内の提携校、海外文化演習はその他の国にある認定校で行われる**研修プログラムに参加する学生を対象として開設**される。それ以外の学生は履修することができない。
- これらの科目を履修する学生は、学生課が定める所定の手続きに従って研修プログラムの参加申し込みを行う。通常の履修登録においては文化演習科目の登録は行わない。
- 海外提携校または認定校での演習は、これらの科目の一部として位置づけられる。科目の成績評価は、事前・事後の本学における授業と課題の提出、および海外提携校または認定校での演習の結果報告を合わせて考慮し、本学の担当者が評価を行う。履修者は本学担当者の指示に従わなければならない。

5. 夏期休暇期間中に開講される科目は、秋学期開講科目として取り扱われ、その成績は他の秋学期履修科目と同時に処理、記録される。また、春期休暇期間中に開講される科目は、翌年度春学期開講科目として取り扱われ、その成績は他の春学期履修科目と同時に処理、記録される。したがって、海外研修プログラム参加に引き続く学期に在籍しない学生は、研修プログラム参加申し込みと文化演習科目の登録を行うことができないが、研修に参加することはできる。
6. これらの科目は単位制限に含まれない。なお、これらの研修は複数回参加可能だが、同一研修において単位認定は初回のみとする。

(5) インディペンデント・スタディについて

学生が自発的に語学研修・研修旅行等のプログラムに参加した場合、または文化への関心・理解を深める、あるいは体験・表現を実践するための有益なプログラムに参加した場合、「インディペンデント・スタディ」として、4単位、2単位、1単位いずれかの単位修得が可能である。単位修得を希望するものは、事前に学科長に申請書を提出し、学科会の許可を経て事前指導を受ける。事後、そのプログラム内容により単位が認定される。

(6) 被災地支援・インターンシップにおける単位認定について

学生が本学の定める機関、又は活動の証明が可能な外部機関等で被災地および避難所における復興支援に参加した場合、「被災地支援・インターンシップ」として、4単位、2単位、1単位のいずれかの単位修得が、以下の要領で可能である。

1. 内容

- (1) 被災地および避難所などにおける復興支援活動。
- (2) 被災地の民間企業、NPO、自治体等における実務実習。

2. 申請条件（いずれかを満たすこと）

- (1) 被災地および避難所における復興支援活動であること。
- (2) 本学の定める機関、または活動の証明が可能な外部機関等で活動すること。

3. 単位認定方法

- ・自由選択科目と位置づけ、卒業要件単位として認める。
- ・履修登録上限の枠外として扱う。
- ・各科目1回のみでの認定とし、複数回の認定は行わない。
- ・下記の「被災地支援・インターンシップにおける単位認定表」に基づき認定する。
- ・春学期は6月15日、秋学期は12月15日までに報告書等の提出がなされた活動のみ、当該学期の単位認定の対象とし、以後の期間にかかる活動は次学期の単位認定とする。

被災地支援・インターンシップにおける単位認定表

認定科目名	単位数	対象学年	単位認定基準	評価方法	成績評価	備考
被災地支援・インターンシップA	4	1～	120時間以上 (事前事後指導含)	活動記録及び報告書に基づいて評価する。	N(認定)	全学科対象 自由選択科目 複数履修不可 (各科目1回)
被災地支援・インターンシップB	2	1～	60～120時間未満 (事前事後指導含)			
被災地支援・インターンシップC	1	1～	30～60時間未満 (事前事後指導含)			